

救急隊員への入所者等 情報提供について

～高齢者福祉施設等との連携的な取組み～

川崎市消防局警防部救急課

本市における将来人口と救急件数の推計

	平成27年	平成42年	平成62年
推計 市内人口	1,471,400	1,522,000 ピーク	1,422,600
推計 65歳以上 人口	293,100	368,600	498,400 ピーク
推計 救急件数	66,740	101,582	?

増加し続ける救急需要

- 全救急件数
65,825件 **8年連続**
(搬送人員:57,528人)
 - 高齢者の搬送人員
30,139人 (52.4%) **昨年から**
(搬送人員に占める割合) **1,079件**
 - 高齢者福祉施設からの搬送人員
4,167人 (14.8%) **昨年から364件**
(65歳以上の搬送人員に占める割合)
- ※数値は平成27年中

看護サマリー等

決められた書式を作成し、看護サマリーに綴じ、いつでもわかるようにしてある

83%

情報は全てサマリーに記載されており、探せば分かるようになっている

13%

救急隊への入所者情報提供書

平成20年8月から、

情報収集の時間を短縮し、
傷病者を的確かつ迅速に搬送
することを目的にお願いして
おります。

救急隊への入所者情報提供書

定期的に更新し事前に用意している

59%

救急要請時にその場で記入している

25%

存在を知らない

6%

老人福祉施設からの救急搬送

	搬送人員	現場到着～ 搬送開始	軽症の割合	中等症の割合	重症の割合
H25年	34	23.4分			15.7%
H26年	39	22.4分			15.0%
H27年	4310人	<u>22.4分</u>	20.4%	57.3%	14.7%

23.4分
から
22.4分
に短縮

各施設との連携を試みて

「情報連絡会」
各署管内の施設等と相互理解を深めた円滑な連携体制の構築をするための「懇談の場」として開催しております。

平成27年度中は、市内54施設（前年45施設）と情報連絡会を実施しました。

今後も継続してまいります。

徐々に顔の見える関係が築かれつつあります。

今後も更に連携を深めさせていただき、より迅速な救急活動が出来ますよう御協力をお願いいたします。